

令和4年度

神戸大学国際人間科学部発達コミュニティ学科

総合型選抜

スポーツ科学受験第1次選抜

令和3年10月2日(土)実施

試験時間：150分

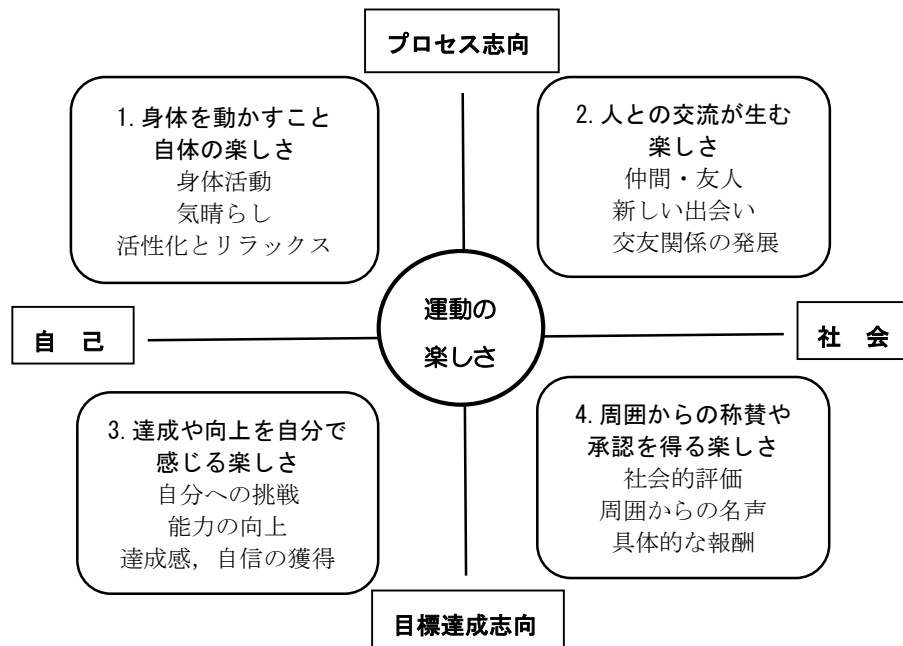
(注意)

- ① 問題は3問(問題冊子は表紙を含め8枚)あります。
- ② 解答用紙は4枚あります。
- ③ 解答はすべて解答用紙の指定の欄に記入してください。
- ④ 解答は、解答用紙に横書きで記入してください。
- ⑤ 配付した問題冊子及び解答用紙等はすべて持ち帰ってはいけません。

## 【問題 I】

### [問 1]

下記の図は、運動・スポーツにおける楽しさが多様で、いろんな楽しみ方があることを、二つの要因を軸として図解したものである。この図を用いて、運動やスポーツが苦手な人から、運動習慣をさらに継続していきたい人まで幅広い層の人々に向けて、運動やスポーツの楽しさを伝えて、運動やスポーツの実践を推奨する文章を作成しなさい。(配点 25 点)



図：運動の楽しさの諸相

出典：高見和至編著「スポーツ・運動・パフォーマンスの心理学」

p. 83 [運動の楽しさの探究] より抜粋，一部改編

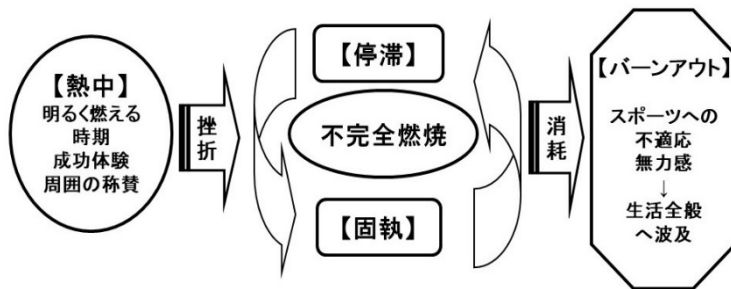
[問 2]

問 1. の「図：運動の楽しさの諸相」のように、自分が説明したい内容を、図表やイラストで表現した図解を作成することは、自分や他人の理解を促進させるうえで有効である。下記の二つの例も、それぞれのテーマを解説するために作成されたものである。

そこで、運動やスポーツの心理的、社会的、文化的側面\*について、あなたの興味関心や疑問点の一つを図解で表現し、さらにそれを活用して解説しなさい。(配点 50 点)

- \* : 心理的側面 : 心や精神状態が運動やスポーツのパフォーマンスに及ぼす影響や、反対に運動・スポーツの実践が人の心理に与える影響などの側面。
- 社会的側面 : 高齢化、ジェンダー、環境問題など、現代社会や地域におけるスポーツの意義や振興の諸課題に関する側面。
- 文化的側面 : スポーツの創成過程やオリンピックの歴史、グローバル化など、人類が共有してきたスポーツ文化を取り巻く現状や未来の課題。

例 1. 競技スポーツ選手における燃え尽き症候群の説明



図：競技スポーツにおけるバーンアウトの発生プロセス

例 2. 運動能力における性差と個人差の考え方

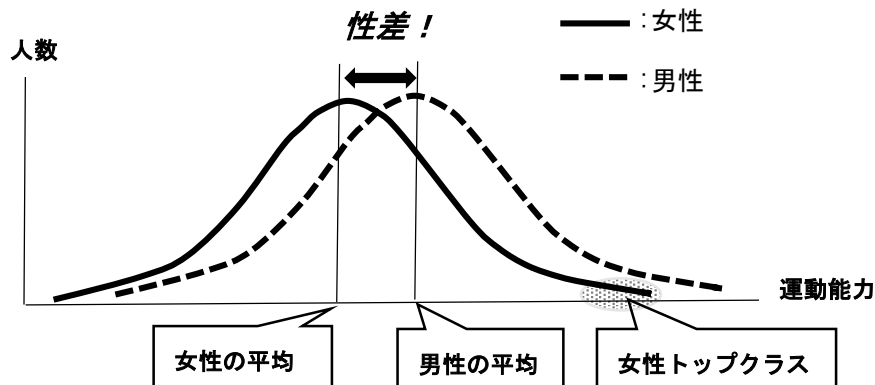


図 男性と女性の運動能力の人数分

出典：Vogler, C. & Schwartz, S. (1993) より抜粋, 一部改編

## 【問題Ⅱ】

次の資料は昭和39年から実施されている「体力・運動能力調査」の結果をもとに、昭和39年度と令和元年度の結果を比較したものです。

図1は青少年期（10歳から19歳）男子の体格（身長および体重）の発達推移、図2は青少年期男子の握力（筋力の代表）の発達推移をそれぞれ示したものです。これらの資料を見て下記の問いに答えなさい。（35点）

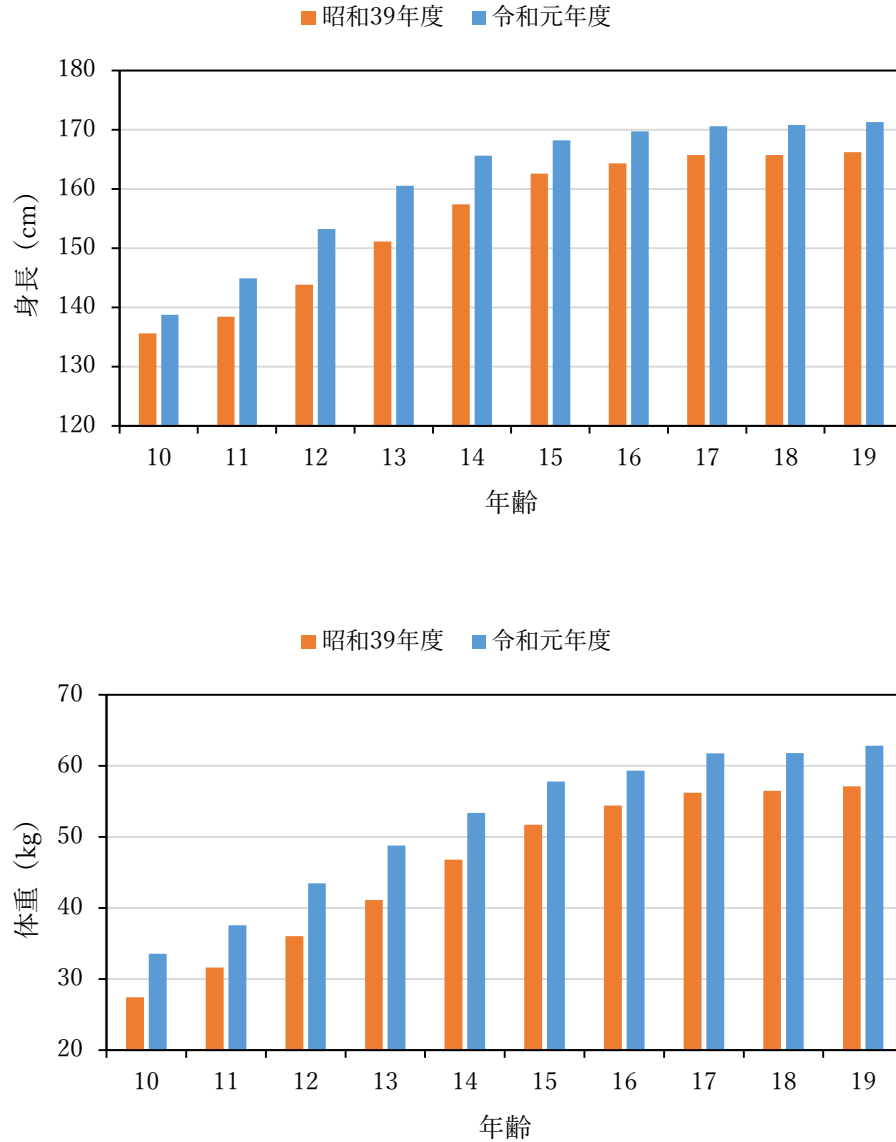


図1 青少年期における体格の発達推移

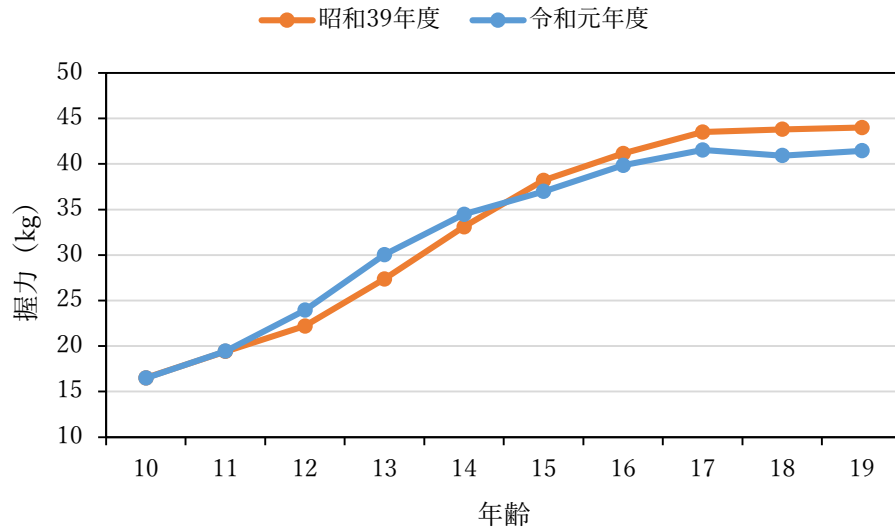


図2 青少年期の握力（筋力）の発達推移

出典：令和元年度スポーツ庁体力・運動能力調査-結果の概要

問1

体格（身長および体重）の発達推移について、①身長と体重の両方に共通する加齢に伴う変化を記述し、②それらの変化を昭和39年度と令和元年度の世代間で比較しなさい。

問2

握力（筋力）の発達推移について、①握力（筋力）の加齢に伴う変化を記述し、②それらの変化を昭和39年度と令和元年度の世代間で比較しなさい。

問3

体格（身長・体重）の加齢に伴う変化の世代間比較、および筋力（握力）の加齢に伴う変化の世代間比較から、令和元年度の世代の体格および筋力にはどのような特徴があるかを記述しなさい。また、次世代に向けて体格や筋力を含む体力のさらなる向上・改善を図るには、運動やスポーツに関連する立場の人たちはどのようにすればよいでしょうか。具体的に立場を明確にしてから述べなさい。

### 【問題Ⅲ】

次の図3と図4は、いずれも小学校5年生男子（10歳）を対象に新体力テストを実施し、合わせて「小学校入学以前の外遊びの実施状況」と現在（調査時）の「運動・スポーツ実施状況」を調査した結果について示したものです。図3は小学校入学前の外遊びと現在（調査時）の運動・スポーツ実施状況との関係を、図4は小学校入学前の外遊び実施状況別に新体力テストの合計点を示したものです。令和元年度10歳男子の平均値56.1点、標準偏差8.0。

また、続く図5は、青少年期の子供（男子：15歳と18歳）を対象に「運動・スポーツ実施状況」と「なんでも最後までやりとげたいと思う」かどうか（達成意欲）<sup>※注1</sup>を調査し、運動・スポーツ実施状況別に達成意欲の度合いについて示したものです。

これらの資料を見て下記の問いに答えなさい。（40点）

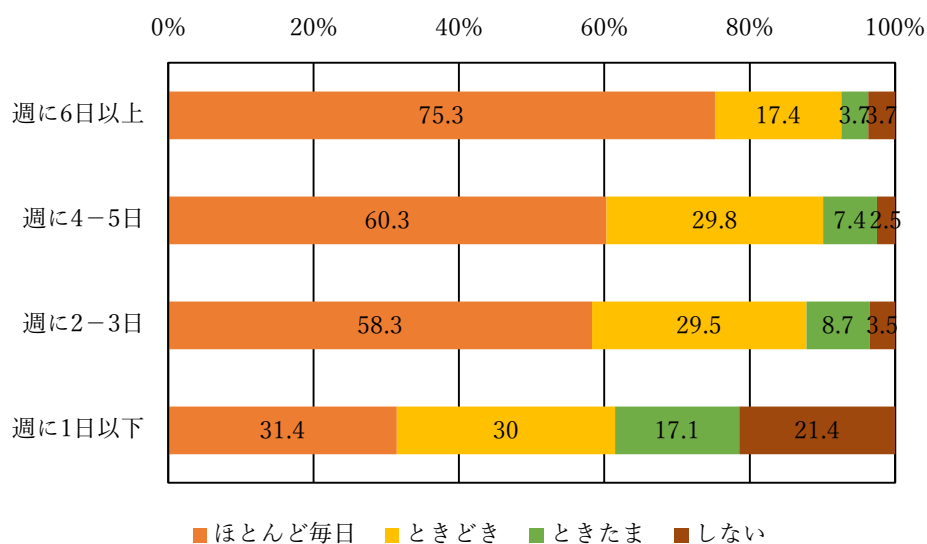


図3 入学前の外遊びの実施状況別に見た現在（調査時）の運動・スポーツ実施状況

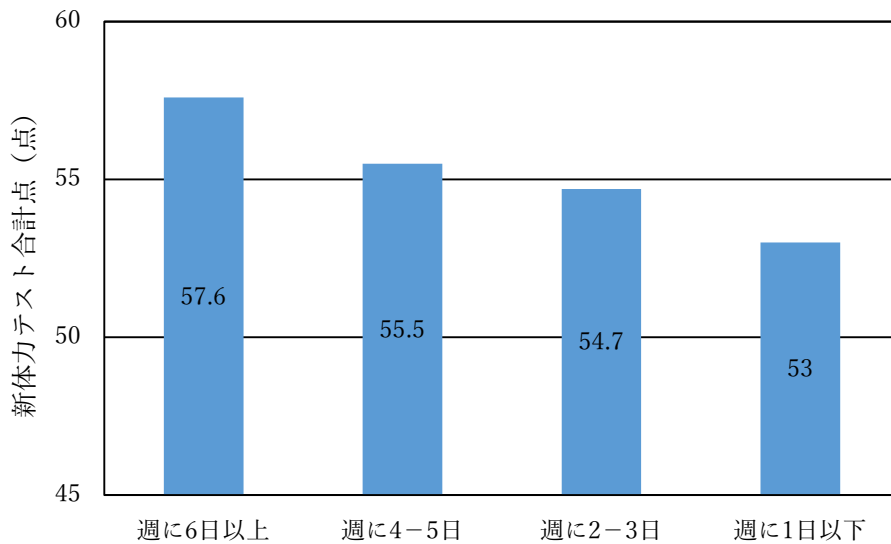


図4 入学前の外遊びの実施状況別に見た新体力テスト合計点

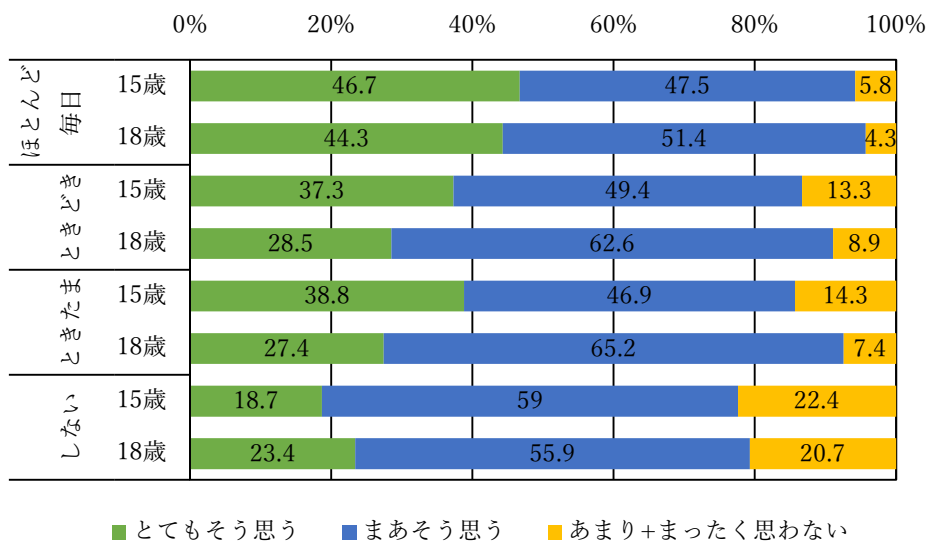


図5 運動・スポーツ実施状況別に見た達成意欲<sup>※</sup>についての割合

※注1: この調査では、「なんでも最後までやりとげたいと思う」の質問に対して、「1. とてもそう思う」、「2. まあまあそう思う」、「3. あまりそう思わない」、「4. まったくそう思わない」の四つの中から選択回答している。

出典：令和元年度スポーツ庁体力・運動能力調査-結果の概要

### 問 1

資料から、小学校 5 年生（10 歳）の運動・スポーツ実施状況が入学前の外遊び実施状況とどのような関係にあるのかについて記述しなさい。

### 問 2

資料から、小学校 5 年生（10 歳）の新体力テスト合計点が入学前の外遊び実施状況とどのような関係にあるのかについて記述しなさい。

### 問 3

資料から、青少年期の子供（15 歳と 18 歳）の運動・スポーツ実施状況と達成意欲がどのような関係にあるのかについて記述しなさい。

### 問 4

あなたが運動・スポーツに関して指導する立場<sup>※注 2</sup> になったとして、これら図 3、図 4、図 5 の資料から、あなたが指導する対象者に向けて、どのようなことを指導、あるいはアドバイスしますか。2 種類の指導対象（場面）を設定し、それぞれの対象者に向けて述べなさい。

#### ※注 2：

〔運動・スポーツを指導する立場の例〕

- 地域スポーツ指導員
- 中学校の保健体育教員
- 9 歳から 11 歳までの児童が参加するスポーツチームのコーチ など